**○　平成29年4月調査における市町村からあがった課題**

資　料　２

|  |  |
| --- | --- |
| 国が示す５つの機能 | 市町村からの課題 |
| 相談 | ・相談支援事業所の充足、一般相談支援事業所の拡大  ・基幹相談支援センターがないため入所施設等に委託するなど検討が必要  ・24時間365日の相談体制については、虐待ケースしか対応できていない  ・24時間相談機能は市・障がい者相談支援センター等が担っているが十分ではない  ・24時間365日の相談体制の整備にあたり、市内事業者との調整、人材確保及び予算措置が必要  ・24時間365日の連絡体制の確保及び相談支援事業の質の向上、人材育成を図る必要がある |
| 体験の機会・場 | ・サービス事業所はあるが空きがなく、体験を提供するスペースがない、満室で体験できない、市内の宿泊体験室・地域活動支援センターがない、資源確保が課題  ・整備にあたって備えるのが困難  ・地域移行に向けて、柔軟に対応できる体験の場がない  ・施設や人材の確保のための財政面等の課題がある |
| 緊急時の受け入れ・対応 | ・夜間等緊急時の医療機関の確保  ・事業所不足により十分対応できていない、緊急時の受入施設の拡大、短期入所事業所の空床の確保、資源が少ないため、緊急時に使えない状況である、利用が困難、満床になっていることが多く緊急時用に確保できるか、整備にあたって備えるのが困難  ・緊急対応事業者のスキルアップ  ・情報の集約と緊急時の連絡体制の確立、空室状況の管理方法  ・既存事業所内で受け入れ態勢の可否を行うこと。必要経費の支出方法  ・医療的ケアを含む緊急時対応について市内事業者との調整及び予算措置が必要  ・受け入れのための空室を確保するには施設面でも財政面でも課題がある |
| 専門性（人材養成） | ・専門的な知識を有する者の人材確保や育成、財政確保等  ・医療的ケアに対応できる事業所が少ない  ・医療的ケアや強度行動障がいなどの専門的ケアを必要とする方を地域で支える人材配置 |
| 地域の体制づくり | ・地域の社会資源をつなぐネットワークの構築 |
| その他 | ・重度化・高齢化に対応する、日中活動事業所や短期入所、訪問系含め、受け皿が不足している。  ・親元からの独立・施設入所や長期入院から地域生活への移行を図る上で啓発・相談等を行う繋ぎの役割を果たす人がいない  ・サービス拠点の整備やコーディネーターの配置等にかかる人材の確保及び財政確保等が課題 |